

新年明けましておめでとうございます

明けましておめでとうございます。昨年とはどんな1年だったのでしょうか？一般的には新型コロナウイルスの感染拡大をはじめとする感染症、ウクライナをはじめとする国際間の紛争の数々、そして紛争に伴う資源の高騰と円安。これまで経験したことのないような大きな変化と不安に直面した1年だったように思えます。

これまでは、誰かがやってくまくいったことをいち早く見つけて、自分にとってできない理由を解決して、徹底的に一生懸命やれば、運があれば大成功。運があんまりなくてもそこそこはやっていけたようです。

しかし、これからは、うまいことしている人の真似ではなく、自分の周りの人たちが求めているモノやコトが何かということに気づいて、その足りないものを提供していくことが必要です。それは今ある方法でなく、今もない方法です。

しかし、全く新しい方法ということでもなく、また身の回りにある色々なものをそのままコピーするのではなく、自分で考えて新しく合成して価値を創っていくことが大切です。これが「イノベーション」です。これからはイノベーションをやり続けたいといけません。

このためには、自分の情報・やり方と、他の視点からの情報・自分に無い遣り方を取り入れていかないとはいけません。さらに、自分に足りないものを借りたり、貸したりしながらお互いに儲けていくコラボレーション（協働）が必要となってきます。これまでもこのようなことを、みなさん努力されてきたことでしょう。これをより広範に、効果的にするための支援と拠点づくり（プラットフォーム）を商工会議所がやっとうと努めています。そして、その実現のためには次代を切り開いていこうというみなさんのご参加と協力が必要だと考えます。今年もみなさんのご意見とご参加いただきながら、みなさんと一緒に変化に対応して進んでいこうと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



会頭
白谷 喜世彦 氏

新年あけましておめでとうございます。旧年中は市政各般にわたり、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、「ウィズコロナ」への生活が本格化する中、本市では、設計から運用に至るまで市民の皆様と創り上げた公園、シーパsparkが完成し、様々な取り組みが創発されています。今年の夏頃にはレストランがオープン予定で、さらなる魅力と活気が溢れるエリアになることを期待しています。こうして明るい話題がある一方で、世界情勢による原油価格、物価の高騰の影響は、未だ地域経済や市民生活に及んでいます。

本市においては、創業支援事業補助金の拡充や利子補給の実施、商工会議所との連携のもと、物価高騰対策として事業所への価格高騰支援金の支給など様々な支援策を講じてまいりました。また、これまでの産業構造や事業の仕組みが大きく変容する中、新たな産業振興の方向性を示すべく「商工業振興ビジョン」の策定作業を進めており、大詰めを迎えているところです。引き続き、時代の変化に対応した取り組みを官民連携して積極的に進めてまいり所存です。

さらに、2025年に開催される「大阪・関西万博」は、泉大津市の魅力を世界に発信する絶好の機会ととらえ、本市独自の取り組みの企画や、観光施策を進めるための環境整備を開始したところであり、これらの取り組みを通じて、地域経済の活性化にも繋げてまいりたいと考えています。

大激動期の中においても、「将来に希望がもてる、元気な泉大津」の実現に向け、商工業の振興施策に加え、本市が持つ高いポテンシャルを活かした新しいビジネスモデルや産業の創出など、本年も白谷会頭はじめ、商工会議所の皆様と一緒に挑戦してまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、泉大津商工会議所の益々のご発展と、本年が皆様にとって素晴らしい一年でありますよう心からご祈念申し上げます。



市長
南出 賢一 氏

新年あけましておめでとうございます。広報委員会委員長の西川です。

昨年たくさんの方々にご購読いただき誠にありがとうございました。また、掲載にご協力いただいた事業所の皆様にも改めて感謝申し上げます。

さて、会議所ニュースでお店を紹介する『会員の広場』では昨年より動画でのお店紹介をスタートし、紙面とネットを融合させた形でより分かりやすい情報をお届け出来るよう努めてきました。

昨年紹介したお店の中には約1ヶ月程度で160件ものご利用をいただいたお店も有り、読者の皆様のおかげで徐々に反響が大きくなっていることが実感出来るようになり大変嬉しく思っております。

本年も引き続き読者の皆様にとって有益な情報を見やすく、そして分かりやすい内容でお届け出来るよう取り組んでまいりたいと思います。

本年も泉大津市民の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



広報委員長
西川 博之 氏